

第13編 下水道編

第1章 総 則

第1節 適用

本章は，下水道工事に適用するものとし，この共通仕様書又は**設計図書**に定めるものを除き，本章第2節の諸基準によるものとする。

第2節 適用すべき諸基準

請負者は，設計図書において特に定めのない事項については，下記の基準類によらなければならない。なお，基準類と**設計図書**に相違がある場合は，原則として**設計図書**の規定に従うものとし，疑義がある場合は監督員に**確認**をもとめなければならない。

国土交通省都市・地域整備局下水道部	下水道土木工事共通仕様書（案）
日本下水道協会	下水道用設計積算要領
日本下水道協会	下水道シールド工法の指針と解説
日本下水道協会	シールド工事用標準セグメント

第2章 管 渠

第1節 適 用

本章は，下水道工事における管渠工に適用する。

第2節 施工計画

2-2-1 地域住民等への対応

請負者は，施工に当たり，地域住民等へチラシ等により下水道工事の案内を行うとともに，工事に対する理解と協力を求め，紛争が生じないように努めるものとする。なお，案内する内容及び方法については，事前に監督員と**協議**し，**承諾**を得なければならない。

2-2-2 事前調査

1．請負者は，施工上必要な事項について，施工前にその全容を把握するための調査を行うものとし，調査対象，調査箇所及び調査方法等についての「事前調査計画書」を作成し，また，調査終了後には「事前調査報告書」を作成し，監督員に提出しなければならない。なお，主な調査事項は，次のとおりとする。

- ア 周辺地域の排水状況
- イ 地下埋設物
- ウ 架空線
- エ 周辺構築物
- オ 道路使用状況（交通量調査を除く）
- カ 井戸及び地下水の状況
- キ その他必要な事項（不発弾等）

2．請負者は，工事関係者等へ事前調査結果を周知し，事故防止に努めなければならない。

3．請負者は，地下埋設物及び架空線等が支障となる等により，施設の位置変更が必要になる場合は，調査資料を作成し，監督員と協議しなければならない。

4．請負者は，調査を行うに当たり，事前に施設管理者へ連絡し，また，施設管理者による指示を受けた場合は，その内容を「事前調査報告書」と併せて，監督員に**提出**するものとする。

5．請負者は，事前調査時及び工事施工中において管理者不明の埋設物等を発見した場合は，監督員に報告し，措置方法について協議しなければならない。また，不明な埋設物等について，措置方法が決まるまでは監督員の**指示**する方法により保全等の措置を講じるものとする。

2-2-3 有害ガス防止対策

1．請負者は，シールド工事，推進工事に当たり，施工前に可燃性ガス等有害ガスの有無を土質調査資料等により確認しなければならない。

2. 請負者は、有害ガスが存在する場合は、関係通達等を遵守するとともに、事故防止対策を講じなければならない。